

B 実践自治 ビーコン オーソリティー Beacon D 自治体情報誌 [ディーファイル] -file 別冊 2024 秋号 Vol.99 Authority

特集

クルマを運転しなくても 暮らしていける 社会づくり

～自治体はその「推進役」たれ!～

加藤 博和 (名古屋大学大学院環境学研究科教授)

発想

子どもに聴き、子どもとともに作る防災・復興

安部 芳絵 (工学院大学教育推進機構教授)

特別寄稿

2024年都知事選から考える民主主義の基盤

木村 草太 (東京都立大学法学部教授)

新連載

よくわかる介護保険

第1回 介護保険料はどうやって決まるのか?

鏡 諭 (法政大学大学院公共政策研究科兼任講師)

自治体の課題と取り組み

「君を守りたい」

東京の繁華街「歌舞伎町」に若者悩み総合相談所

「きみまも@歌舞伎町」 東京都



ニッポンはおいしい！
食と農から未来は変わる。
地域に豊かさをもたらす女性たちの活躍

著者：金丸弘美（総務省地域力創造アドバイザー）
／内閣官房地域活性化伝道師
発行：理工図書株式会社
四六版 216ページ
定価：2090円
（本体1900円＋税）



この本は、WANウーマンズアクションネットワーク（理事長上野千鶴子（東大名教授・社会学者））が2016年から連載してきた「金丸弘美のニッポンはおいしい！」のシリーズから12名の女性活動を取り上げている。各地の農業と食をつなげる女性たちにインタビュー紹介。「各地のおいしいもの」から「観光・経済・地域振興」まで農村に生きる女性たちの活躍はまぶしい。どの取組も、いままでの農業ではなかった発想と行動力に満ちている。

登場するのは、愛知県名古屋・オーガニック朝市・吉野登子さん／漁師直行超鮮度の魚がならぶ【道の駅ひなな】伊藤美幸さん／10種のジャムが人を呼ぶ山口県大津郡周防大島町・瀬戸内ジャムズガーデン・松崎智明さん／おいしい食体験ができる宿。新しい旅と観光スタイルを生み出した【gochi荘】兵庫県西宮市・Table a Clock 岡田奈穂子さん／ウイスキーに魅せられた埼玉県秩父市・秩父醸造所・ブランドアンバサダー・吉川由美さん／酪農と人を結びジェラードで成功した千葉県いすみ市・高香牧場 馬上温香さん／野菜作りで外国の困難や子どもの未来を考える静岡県菊川市・森あくらさん・坂本信子さん／大好きなお茶を全国に伝える2代目神奈川県東川町・株式会社 妻和園・山田仁子さん／農業女子プロジェクトの活用やレシピ付きの野菜提供で笑顔の山形県米沢市・野菜農園 笑伝-EDEN- 我妻飛鳥さん／米沢件を支える福作の両方を大切に多忙な山形県米沢市・リベラルファーム米沢・鈴木純子さん／レストランが使える新たな野菜づくりを進める埼玉県さいたま市・さいたまヨーロッパ野菜研究会・福田裕子さん／生産緑地を借り都市農業で新規参入した東京都日野市・株式会社ネイバースファーム・福村桂さん。

とにかく、皆さんエネルギーが膨大な。いろいろやってみて一番納得できる働き方や生き方を見つけ、生き方を説くだけでなく勇気が湧いてくる。上野千鶴子さんも「日本農業は女性が変わる。女性がつくる日本農業の未来！」と推薦している。

問い合わせ先：一般書店で販売

老後ひとり難民

沢村香苗 著
発行：幻冬舎
新書判 216ページ
価格：定価990円

公益財団法人日本ライフ協会が破綻した2016年以降、筆者は「身元保証」ビジネスの裏側にある高齢者の危うい実態の把握調査を行い明らかにしてきた。

本書では老後に訪れる様々な面倒ごとや迫られる選択・決断、死後も準備が必要なこと柄などの全体像を描きながら、単純ではない事態を明らかにしている。

そもそも選択する意思決定能力が本人にあることが前提で成り立つ世の中の仕組みが、その力が弱まる時に機能しないということが明らかにされる。

そして意思決定能力があっても、配偶者や子どもなどの“身元保証人”がいない高齢者は、入院だけでなく、施設への入居を断られることも多い。

そして高齢で体が不自由になるなか、認知機能の低下で金銭管理が怪しくなり、果ては無縁仏になるケースもあるとしている。

冒頭の身元保証ビジネスの実態も、公的な制度の外で、やっと2024年6月に「高齢者等終身サポート事業者ガイドライン」が内閣官房（身元保証等高齢者サポート調整チーム）内閣府 孤独・孤立対策推進室／金融庁／消費者庁／総務省／法務省／厚生労働省／経済産業省／国土交通省によって作成され、チェックリストも添付された。この紹介をしつつ、これら事業者の監督官庁はいままで罰則があるわけでもない指摘している。

本書ではこのような現実と直面し、かつ急増している高齢者を「老後ひとり難民」と呼び、起こりがちなトラブルを回避する方法と、どうすれば安心して老後を送れるのかについて解説している。

問い合わせ先：一般書店で販売



自治総研ブックレットNo.27 「転回」する地方自治 2024年地方自治法改正（上）【解題編】

編者：今井照・自治総研
発行：公人の友社
A5判 1160ページ
価格：¥1,870円（税込）



2024年6月19日に地方自治法の改正が国会で可決成立した。法律が可決されれば自治体はそれを執行する準備をしなければなりません。本書は、何がどう変わったのか、どこに課題が残っているのかを改正条項に添って解説している。

地方自治法に包括的な指示権を設けることは「対等・協力」の地方分権の流れを逆回転させると懸念された改正であるが、自治体は何を求められどのように対処するのか。

その他の改正点も含め、条例化など具体的に審議する中で、本書は大変に役立つ。

改正法のどの条項で、主語と述語の関係性、どのような時（いつ）に誰が何をとしているのか平易に解説している。

そして衆参の付帯決議に色濃く懸念されている自治の尊重について、「司令塔は地域社会（自治体と市民）でありここからの声を国は指示として受け止めるべき」という本書の姿勢と、最後の「自治体と地域で準備することを考える」では自治体議会や行政に関わる人々の矜持や、地域における信頼と公平性の点検を促す。

逐条的に改正条項と論点、解題を分かりやすく挙げており、真剣な議論に誘導してくれる一冊です。

問い合わせ先：自治総研

電話：03-3264-5924